

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	自治会長関係事業							事業コード	020101720139					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち					政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施 策 名	1 地域組織や地域活動の活性化						施策コード	111					
事業担当	所 属	020300 市民生活部まちづくり推進課					所属長	片岡 まり子						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	01 一般管理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	59	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	一			R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	自治会長に対する事務委嘱要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 行政事務の円滑化を図るため、自治会長事務委嘱要綱に基づき自治会長に事務を委嘱するとともに、自治会長の相談窓口としての機能を担う。また、市と地域が協働してまちづくりを推進していくために、自治会長会等を開催し、市の重点施策の共有や意見交換等を行っている。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 地域課題が複雑・多様化するなかで、自治会では人口減少や高齢化、地域コミュニティの希薄化などにより、担い手不足や負担感の増加などがあるなかで、持続可能な自治会としていくため、自治会の負担軽減について検討する必要がある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・「風通しのよい市役所」の実現をめざし、地縁コミュニティである自治会と行政が相互連絡を行うことで地域での暮らしやすさを向上させる。 ・自治会長に対する事務委嘱要綱に基づき、自治会長に行政事務の一部を委嘱し、円滑な行政運営を実現する。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・行政事務の円滑化を図るため、自治会長に対する事務委嘱要綱に基づき、自治会長に行政事務の一部を委嘱し、円滑な行政運営を行う。 1 委嘱事務・市広報紙等の配布、周知事項の連絡、各種募金の取扱い等、 2 自治会長運営委員会の開催(年2回)、 3 自治会長会の開催(年1回) ・地域(市民)と行政とのパイプを活用した「風通しのよい市役所」の実現をめざすことを目的として、自治会ごとに「地区担当職員」を配置する。 ・地縁団体(自治会)の認可申請等に関する事務を取り扱う。					
対象者	自治会長		対象者数	325	単位あたりコスト	370.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	111,842		112,718		106,735		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		111,842		112,718		106,735		0				
予算財源内訳	① 一般財源	111,830		112,706		106,723		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	12		12		12		0				
決算情報	① 流充用額	△ 2,010		0								
	② 配当予算	109,833		112,718								
	③ 執行額	108,960		110,121								
	④ 執行率	99.2%		97.7%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.85	/	0.90	0.95	/	0.90	/				
	② 概算人件費	9,320		10,120								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		118,280		120,241								
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	地縁団体証明手数料		種類	総務手数料		実績金額	17		決算附属資料	11	頁
				1								

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	個	-	-	-			
	見直した委嘱事務の数	目標値		-	-	-	-	5	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	50	48	47			
	文書送達件数(各戸配布)	当初見込		55	55	50	45	40	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
負担軽減に係る検討会の開催									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・自治会長事務委嘱要綱に基づき、広報の配布等の事務を委嘱し、市政の実施に協働で取り組んでいる。しかし、一方で、自治会役員のなり手不足が課題となっていることから、自治会長への事務の委嘱のあり方等について検討を進める必要があり、令和5年度は自治会長アンケートを実施し、令和6年度には40程度の自治会をピックアップして自治会長ヒアリングを行い、負担感等についての調査を行った。 アンケート調査では、市からの委嘱事務の負担感については、「市から依頼のある委員の選出(84.1%)」が特に多く、次いで「募金の集金(66.4%)」、「広報物の各戸配布(60.1%)」、という結果となっており、多くの自治会で負担と感じられていることがわかった。	
現状の課題 に対する 改善策	・事務委嘱のあり方については、庁内の関係課による検討委員会の設置や自治会長から意見をお聞きするなど、見直しに向けた検討を開始していく。 ・自治会長アンケート及び自治会長ヒアリングの結果から、自治会役員等の担い手不足による自治会長個人の負担が大きく、市の委嘱事務についても一定負担に感じられていることから、自治会長文書数の軽減・配布回数の軽減等、委嘱事務の見直しを検討する。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	地域づくり組織支援事業										事業コード	020110720205				
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち							政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化								施策コード	111					
事業担当	所属	020300 市民生活部まちづくり推進課							所属長	片岡 まり子						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計		決算附属資料	90		頁
計画期間	開始年度	平成27年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	一				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	福知山市自治基本条例、地域づくり組織支援事業交付金交付要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・従来の自治会や行政だけでは解決できない課題に柔軟に対応するため、地域のあらゆる人たちが協力して活動を展開していく「地域づくり組織」といった新たな市民主体の仕組みづくりが求められている。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・「地域づくり組織」の設立を目指している地域に対する支援 ・既に「地域づくり組織」の設立が完了している地域に対する伴走支援					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・一定のまとまりのある地域において、その地域の住民等により構成された包括的な自治組織である「地域づくり組織」の活動に対して、設立支援または継続支援を行うことによって、地域住民が地域のために活動し、暮らしやすい地域を自らの手で営んでいくことを通じて、地域の活性化を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・市内にある6つの地域づくり組織に対し、「地域づくり組織支援事業交付金」を交付 ・新たに地域づくり組織の設立を検討している地域からの相談対応 ・近隣市(朝来市・丹波市)と連携し、地域づくりについて学ぶ「互近助サミット」の開催					
対象者	市民		対象者数	74,000	単位あたりコスト	0.6
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	39,494		40,396		39,607		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		39,494		40,396		39,607		0						
予算財源内訳	① 一般財源	1,494		896		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	38,000		39,500		39,607		0						
決算情報	① 流充用額	△ 9,514		0										
	② 配当予算	29,980		40,396										
	③ 執行額	29,980		34,344										
	④ 執行率	100.0%		85.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.80	/	0.00	1.35	/	0.00	/						
	② 概算人件費	6,400		10,800										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		36,380		45,144										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	地域づくり組織支援事業基金繰入(地域振興基金繰入金)			種類	基金繰入金		実績金額	10,720		決算附属資料	36		頁
		地域づくり組織支援事業基金繰入(過疎地域持続的発展基金繰入金)				基金繰入金			23,304			37		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	%	5	7	7			
	地域づくり組織が設立されている地域の市民が地域づくり組織の活動に参加した割合	目標値		5	6	7	8	9	
			達成度	%	100%	117%	100%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	202	205	237			
	部会・研修等開催回数								
	当初見込			140	140	140	140	140	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地域づくり組織を対象にした講座や研修、交流会等を実施する。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
	当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること ・設立支援や継続支援によって、6つの「地域づくり組織」が地域課題の解決や地域活性化のために活動できた。 ・現在、「地域づくり組織」の収入源が交付金に偏っている。 ・「地域づくり組織」が設立されている地域が一部に限られている。								
現状の課題 に対する 改善策	・「地域づくり組織」が交付金以外から収入を得られるような事業の推奨を行っていく。 ・引き続き、「地域づくり組織」の設立を検討している地域への支援を行っていく。								

| 事業属性

(単位：千円)

II 事業基礎情報

III 予算執行状況

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	三和支所 コピ一代	種類	雑入	実績金額	25	決算附属資料	44	頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人	15250	13642	27237			
		目標値		15000	15000	20000	20000	20000	
	三和支所利用者数		達成度	%	102%	91%	136%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	20	21	21			
	在勤職員数(宿日直職員を含む)	当初見込		20	20	20	20	20	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	三和地域の教育と福祉の拠点として、市民が気軽に訪れることができる施設にするため、入所団体の会議利用やイベント利用を積極的に受け入れる。また、入所団体間の連携のため、支所を中心に、情報提供・共有を進める。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	-	-	-	-			
		目標値		-	-	-	-	-	
	定性的な評価		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	千円	11433	4629	4700			
	支所管理経費	当初見込		10470	4898	4884	4959	5000	
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	適正で効果的・効率的な予算執行に努める。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	・支所機能を維持するうえで必要最低限の管理経費であり、今後も必要である。 ・三和荘を中心とした地域交流拠点整備とあわせ、福祉関係機関や図書館の支所への移転、集約など、支所を中心とした教育と福祉の拠点整備を令和5年度に完了し、今後は、各関係団体との連携を強化し各施策の充実につなげていく。								
現状の課題 に対する 改善策	・今後、さらに少子高齢化が進む中で、市東部地域の行政サービスの拠点施設としてしっかりと維持するとともに、庁舎に集約した各種団体等との連携強化を図り、情報の共有・発信力を高め住民福祉の向上につなげていく。 ・人口減少により地域活力が減衰していくなかで、支所として様々な課題に対応していくため、三和地域協議会や三和地域公民館、各種団体等と協働し、住民の日常生活を支えるとともに、住民の交流拠点としての三和荘と連携し、教育と福祉の充実、三和地域のコミュニティの維持・醸成に取り組んでいく。								

| 事業属性

(単位：千円)

|| 事業基礎情報

III 予算執行状況

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	三和支所使用料	種類	総務使用料	実績金額	170	決算附属資料	7	頁
		三和支所施設管理事業基金繰入金(公共施設等総合管理基金)		基金繰入金		397		38	
		三和支所施設管理事業(一般)		総務債		1,400		50	
		三和支所施設管理事業(脱炭素化推進)		総務債		4,800		50	
		三和支所施設管理事業(公適・除却)		総務債		3,000		50	
		ほか				263			

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人		15250	13642	27237			
		目標値		15000	15000	20000	20000	20000		
	三和支所利用者数	達成度		%	102%	91%	136%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人		20	21	21			
	在勤職員数(宿日直職員を含む)	当初見込		20	20	20	20	20		
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	三和地域の教育と福祉の拠点として、市民が気軽に訪れることができる施設にするため、入所団体の会議利用やイベント利用を積極的に受け入れる。また、入所団体間の連携のため、支所を中心に、情報提供・共有を進める。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	-		-	-	-			
		目標値		-	-	-	-	-		
	定性的な評価	達成度		%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	千円		69903	103203	24044			
	支所管理経費	当初見込		135321	35000	24293	7941	25000		
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	適正で効果的・効率的な予算執行に努める。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること								
	・支所機能を維持するうえで必要最低限の管理経費であり、今後も必要である。 ・三和荘を中心とした地域交流拠点整備とあわせ、福祉関係機関や図書館の支所への移転、集約など、支所を中心とした教育と福祉の拠点整備を令和5年度に完了し、今後は、各関係団体との連携を強化し各施策の充実につなげていく。								
現状の課題 に対する 改善策	・今後、さらに少子高齢化が進む中で、市東部地域の行政サービスの拠点施設としてしっかりと維持するとともに、庁舎に集約した各種団体等との連携強化を図り、情報の共有・発信力を高め住民福祉の向上につなげていく。 ・人口減少により地域活力が減衰していくなかで、支所として様々な課題に対応していくため、三和地域協議会や三和地域公民館、各種団体等と協働し、住民の日常生活を支えるとともに、住民の交流拠点としての三和荘と連携し、教育と福祉の充実、三和地域のコミュニティの維持・醸成に取り組んでいく。 【令和7年度以降：菟原下定住促進住宅用地販売促進事業、お試し住宅管理事業(三和地域)、三和支所きめ細かな安心安全事業を統合。】								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	三和荘等施設管理運営事業								事業コード	020110130207						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち					政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備								
	施 策 名	1 地域組織や地域活動の活性化						施策コード	111							
事業担当	所 属	020800 市民生活部三和支所					所属長	井上 浩人								
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計		決算附属資料	82		頁
計画期間	開始年度	平成17年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	一				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	一															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・三和荘施設を地域交流の拠点施設として維持・継続していくため、また、利用者の利便性の向上及び安全確保を図るの観点から、必要に応じ施設整備や修繕を行う必要がある。 ・三和荘改修工事が完了し、全ての施設が稼働する中、特にレストランや宿泊施設及びシャワー棟などにおいて、衛生面の管理を強化し、清掃等適切な維持管理体制を確保する必要がある。 ・市の直接管理で運営を行っていたうえで、いかに集客力を高めるために様々な工夫が必要となっていた									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 三和荘を地域交流の拠点施設として、今までより利用しやすく、また、気軽に訪れやすい施設とすること。 三和地域公民館とアネックス京都三和連機室及び三和地域協議会との調和を図り、より三和荘を地域交流の拠点とする。 民間事業者によるレストラン運営、宿泊施設の委託が適正に継続して行えるようにする。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 市の直接運営となった三和荘施設の維持管理に必要な業務委託や修繕等を実施し、地域交流の拠点施設として、地域振興、観光振興、地域住民の交流促進と福祉の増進に向けた施策を展開し、活力あるまちづくりにつなげるべく、適正な施設運営及び管理を行う。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 安定した持続可能な直接運営の実施 ・三和荘施設を市が直接運営、維持管理及び修繕等するために必要な一般事務経費(事務用品、電話代、郵送料、コピー使用料等)の支出 集客の増進 ・パンフレット、広告、ホームページ、SNS等様々な媒体を利用した広報活動 ・主催、共催及び後援によるイベントや企画の実施及び誘致活動									
対象者	施設利用者				対象者数	101,000		単位あたりコスト	0.8	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	15,925		55,914		49,803		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		15,925		55,914		49,803		0					
予算財源内訳	① 一般財源	12,391		33,535		23,894		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		1,400		0					
	⑤ その他特財	3,534		22,379		24,509		0					
決算情報	① 流充用額	△ 223		△ 1,035									
	② 配当予算	15,702		54,879									
	③ 執行額	15,662		47,956									
	④ 執行率	99.7%		87.4%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	1.92	/	7.88	1.81	/	8.23			/			
	② 概算人件費	37,424		37,524									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		53,086		85,480									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	三和荘及び関連施設使用料		種類	総務使用料		15,362		実績金額	7		頁
			自動販売機設置貸付収入(三和支所)			財産貸付収入		111			32		
			三和荘等施設管理運営事業基金繰入(過疎地域持続的発展基金)			基金繰入金		2,592			37		
			三和荘宿泊施設			雑入		261			43		
			三和荘レストラン			雑入		675			43		
			ほか					166					

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人	25390	19714	90579			
		目標値		60000	15000	101000	101000	101000	
	三和荘施設利用者数		達成度	%	42%	131%	90%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	0	0	10			
	三和荘主催、共催または後援のイベント数	当初見込		0	0	9	9	9	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・三和地域及び周辺地域の住民を対象とした三和荘(市)主催のイベントの実施 ・三和地域公民館、三和地域協議会、アネックス京都三和連携室等と連携(共催・後援)しイベントや企画を実施								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	・三和荘施設を地域交流の拠点施設として維持・継続していくため、また、使用者の利便性の向上及び安全確保を図るの観点から、必要に応じ施設整備や修繕を行う必要がある。特にレストランや宿泊施設及びシャワー棟などにおいて、衛生面の管理を強化し、清掃等適切な維持管理体制を確保する必要がある。 ・市の直接管理で運営を行っていくうえで、いかに集客を行い施設利用を促進するか様々な工夫が必要となってくる。								
現状の課題 に対する 改善策	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	・三和荘施設を地域交流の拠点施設として維持・継続していくため、必要な施設整備や修繕を行い、利用者の満足度の向上を図る。 ・三和地域公民館、三和地域協議会、アネックス京都三和連携室や、福祉関連組織等が行う既存イベント等とも連携しながら、三和荘も様々なイベント等の企画を立案・実施することで、使用者の満足度の向上と集客の増進及び広報を図る。 ・施設使用者からのニーズを把握しながら、集客につながる企画の立案や実施に向けた設備や物品を整備し利用者の満足度の向上を図る。 ・地域住民代表組織である三和荘活用推進協議会と協議を行い、官民連携のなか様々な課題を解決し、持続可能な運営を行う。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	下夜久野地区財産区管理経費										事業コード	010101210146				
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち						政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備							
	施 策 名	1 地域組織や地域活動の活性化								施策コード	111					
事業担当	所属	020900 市民生活部夜久野支所						所属長	余田 学							
会計情報	款	01総務費		項	01 総務管理費		目	01 一般管理費		会計	18 下夜久野		決算附属資料	280		頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	地方自治法 福知山市下夜久野地区財産区管理会条例 福知山市下夜久野地区財産区管理会特別会計条例 福知山市下夜久野地区財産区財政調整基金条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 昭和30年代の町村合併に、旧村単位で保有していた財産をそれぞれの地域で管理するために設置された。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 保有する財産の大半が山林であるが、その管理が課題となっている。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 地域組織の活性化のため、福知山市下夜久野地区財産区管理会条例に基づき、財産の保全管理並びに基金の管理を図る。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 福知山市下夜久野地区財産区有林の保全管理を実施 ・令和6年度、福知山市下夜久野地区財産区管理会を2回(8月・2月)実施										
対象者	下夜久野地区住民					対象者数	1,151		単位あたりコスト	1.7	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	135		135		135		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		135		135		135		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	135		135		135		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	135		135										
	③ 執行額	57		44										
	④ 執行率	42.2%		32.6%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.41	/	0.10	0.22	/	0.05			/				
	② 概算人件費	3,560		1,900										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,617		1,944										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	基金利子		種類	利子及び配当金		実績金額	4		決算附属資料	279		頁
			下夜久野地区財産区財政調整基金繰入金(下夜久野地区財産区財政調整基金)			下夜久野地区財産区財政調整基金繰入金			40			279		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績		2	2	2			
	福知山市下夜久野地区管理会開催回数	当初見込	回	4	4	4	4	4	
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
		地域組織の活性化のため、福知山市下夜久野地区財産区管理条例に基づき、財産の保全管理並びに基金の管理を図る。							
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	福知山市下夜久野地区財産区については、旧村合併の際に設置された特別地方公共団体であり、適正な管理が必要である。 財産である木材価格が低迷する中、近年は基金を取り崩す一方となっており、基金が枯渇する前に対象地区住民と課題を共有し、今後の方向性を遠くない時期に結論づける必要がある。 不測の事態に備えて予算では一定額を計上しているが、枯渇している基金の減少を最小限に抑えるため、必要最小限予算執行を行っている。	
現状の課題 に対する 改善策	特別地方公共団体である財産区の今後の方向性について計画的に検討を進める。 必要最小限の予算執行を行い、基金の取り崩しを極力抑えられるよう執行している。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	夜久野支所一般管理事業										事業コード	020101810443				
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち						政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備							
	施 策 名	1 地域組織や地域活動の活性化								施策コード	111					
事業担当	所属	020900 市民生活部夜久野支所						所属長	余田 学							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	01 一般管理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	63・64		頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	一				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	福知山市支所設置条例、地方自治法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 夜久野地域及び市西部周辺地域の行政サービス提供の拠点として、地域住民福祉の増進と利便性を確保するため支所機能を維持している。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 限られた予算の中で支所運営を行っていくため、さらなる事務の効率化等が必要										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 地域組織・地域活動の拠点施設である夜久野ふれあいプラザ内にある夜久野支所を、適正に管理・運営する。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 夜久野支所における事務用品、役務費(通信費)、電話交換機・デジタル複合機賃借料など、一般管理経費を計上 ・宿直日数 365日 日直日数121日 4名を雇用し輪番制で1名勤務										
対象者	夜久野支所を利用する人					対象者数	11,000		単位あたりコスト	1.5	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,218		1,637		2,043		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		1,218		1,637		2,043		0						
予算財源内訳	① 一般財源	1,215		1,634		2,040		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	3		3		3		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	1,218		1,637										
	③ 執行額	1,142		1,275										
	④ 執行率	93.8%		77.9%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.63	/	0.35	0.34	/	4.65	/						
	② 概算人件費	6,020		15,740										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,162		17,015										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	コピー代(夜久野支所)		種類	雑入		実績金額	3		決算附属資料	44		頁
			夜久野支所窓口精算金			雑入			5			47		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人	10507	10360	8206			
		目標値		13000	11000	11000	11000	11000	
	支所利用者数		達成度	%	81%	94%	75%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	13	13	13			
	在勤者数	当初見込		15	15	15	15	15	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
地域組織・地域活動の拠点施設である夜久野ふれあいプラザ内にある夜久野支所を、適正に管理・運営する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	支所機能を維持する上で必要最小限の経費であり、現在の事業規模で継続的に実施する。								
現状の課題 に対する 改善策	夜久野支所は、旧町域の住民が利用する施設というイメージが強く、合併以降は旧町の住民が主に訪れる施設であったが、近年徐々に近隣の旧福知山市地域の住民も訪れるようになり、西部地域のサービス拠点として期待されることから、継続して管理運営を行なう。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	夜久野支所施設管理事業										事業コード	020105810447				
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち						政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備							
	施 策 名	1 地域組織や地域活動の活性化								施策コード	111					
事業担当	所属	020900 市民生活部夜久野支所						所属長	余田 学							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	05 財産管理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	68・69		頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	一				R7現在の状況		他事業を統合		
根拠法令等	福知山市支所設置条例、地方自治法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 夜久野地域及び市西部周辺地域の行政サービス提供の拠点として、地域住民福祉の増進と利便性を確保するため支所機能を維持している。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 限られた予算の中で支所運営を行っていくため、さらなる事務の効率化等が必要。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 地域組織・地域活動の拠点施設である夜久野ふれあいプラザ内にある夜久野支所を、適正に管理・運営する。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 夜久野支所事務所及び公用車両の管理経費 ・施設清掃業務(週3回支所負担、週2回生涯学習課負担) ・公用車4台保有 ・夜久野ふれあいプラザ光熱水費(11月分～3月分を支所負担、他の月は生涯学習課負担)					
対象者	夜久野支所を利用する人		対象者数	16,883	単位あたりコスト	1.3
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	14,597		13,670		6,939		0						
	② 補正予算	△ 5,590		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		9,007		13,670		6,939		0						
予算財源内訳	① 一般財源	8,821		8,162		6,831		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		5,400		0		0						
	⑤ その他特財	186		108		108		0						
決算情報	① 流充用額	△ 2,751		0										
	② 配当予算	6,256		13,670										
	③ 執行額	6,256		11,748										
	④ 執行率	100.0%		85.9%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.63	/	0.30	0.59	/	2.10	/						
	② 概算人件費	5,880		10,600										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		12,136		22,348										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	電柱占用料(夜久野支所)			種類	総務使用料		実績金額	8		決算附属資料	7		頁
		土地貸付収入(夜久野支所)				財産貸付収入			1,052			30		
		夜久野支所施設管理事業(脱炭素化)				総務債			4,800			50		
		金属くず(夜久野支所)				物品売払収入			19			33		
						15								

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人	10507	10360	8206			
		目標値		13000	11000	11000	11000	11000	
	支所利用者数		達成度	%	81%	94%	75%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	13	13	13			
	在勤者数	当初見込		15	15	15	15	15	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
地域組織・地域活動の拠点施設である夜久野ふれあいプラザ内にある夜久野支所を、適正に管理・運営する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	支所機能を維持する上で必要最小限の経費であり、現在の事業規模で継続的に実施する。								
現状の課題 に対する 改善策	夜久野支所は、旧町域の住民が利用する施設というイメージが強く、合併以降は旧町の住民が主に訪れる施設であったが、近年徐々に近隣の旧福知山市地域の住民も訪れるようになり、西部地域のサービス拠点として期待されることから、継続して管理運営を行う。								
	令和7年度から、夜久野支所きめ細かな安心安全事業を統合。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	夜久野高原・道の駅支援事業										事業コード	020110220306			
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち						政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化								施策コード	111				
事業担当	所属	020900 市民生活部夜久野支所						所属長	余田 学						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計		決算附属資料	84	頁
計画期間	開始年度	昭和60年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－				R7現在の状況	他事業を統合		
根拠法令等	夜久野高原・道の駅支援事業「やくの高原まつり」補助金交付要綱、夜久野農林商工祭補助金交付要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 令和3年度から道の駅の多くの施設が休館し、ドライブインやくのも閉館する中、京都府唯一の火山である宝山によって形成された風光明媚で史跡にも恵まれた夜久野高原全体を活用した賑わいづくりをめざし、令和6年度に「やくの高原活性化検討会」において再構築方針が取りまとめられた。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ イベントによる一時的な集客はあるが、年間を通じての道の駅への集客につなげる必要があることから、令和6年度にとりまとめられた夜久野高原の再構築方針の実現と連携した取り組みが必要。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 京都府唯一の火山である宝山によって形成された溶岩台地で、風光明媚で史跡にも恵まれている夜久野高原を、道の駅「農匠の郷やくの」を含めて地域内外へ発信することにより、観光地としての集客を図るとともに住民交流を促進する。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 地域交流の拠点施設でもある道の駅「農匠の郷やくの」や、夜久野高原を地域内外へ発信することにつながる各イベント等を実施する団体に対して補助金を交付し支援する。 ・やくの高原まつり ・夜久野農林商工祭									
対象者	観光客及び市民				対象者数	123,275		単位あたりコスト	0.0	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	902		648		871		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		902		648		871		0						
予算財源内訳	① 一般財源	200		0		547		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	351		324		324		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	351		324		0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 275		0										
	② 配当予算	627		648										
	③ 執行額	627		634										
	④ 執行率	100.0%		97.8%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.53	/	0.30	0.52	/	0.30			/				
	② 概算人件費	5,080		5,000										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,707		5,634										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	夜久野高原・道の駅支援事業(きょうと地域連携交付金)			種類	総務費府補助金		314		実績金額	22		決算附属資料	頁
		夜久野高原・道の駅支援事業基金繰入(ふるさと創生事業基金)				基金繰入金		317			35			

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	2000	16000	8000				
	やくの高原まつり来場者数	目標値		16000	16000	16000	16000	16000		
		達成度		%	13%	100%	50%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	千円	548	548	548				
	やくの高原まつり補助額	当初見込		548	548	548	548	548		
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	地域の活性化につながる活動を行う団体への補助									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること それぞれのイベントが従来の規模での開催となり、一定の集客があった。 一時的なものであるが、イベント開催を通じて夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」のPRもできており一定の成果を上げている。								
現状の課題 に対する 改善策	イベントの継続については関係団体と協議しながら、夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」のにぎわいの創出、PRに向けて観光地としての集客や住民の交流促進につながるイベントとするため、来場者数を目標値に達成させるため広報等の強化に努める。 令和7年度から、「やくの高原・道の駅支援事業」と「額田ダシまつり補助事業」を「夜久野支所地域支援事業」として事業統合した。								

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	大江支所一般管理事業										事業コード	020101810450				
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち							政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化								施策コード	111					
事業担当	所属	021000 市民生活部大江支所							所属長	岸本 範義						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	01 一般管理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	64		頁
計画期間	開始年度	平成17年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	－															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()															
関連事業	－															

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 平成18年1月1日、旧福知山市・旧三和町・旧夜久野町・旧大江町の市町村合併に伴い、住民サービスの低下を招かないよう、旧町役場を地域住民の身近な行政サービス窓口として支所が設置されたもの。大江地域及び市北部地域の行政サービス提供の拠点として、地域住民福祉の増進と利便性を確保するため支所機能を維持し、その支所業務を円滑に実施するための事業。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 円滑な支所運営を行っていくため、さらなる事務の効率化とサービス向上等が必要。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 大江地域及び市北部周辺地域の行政サービス提供の拠点として、地域住民福祉の増進と利便性を確保するため支所機能を維持し、その支所業務を円滑に実施する。大江地域及び近隣の住民に対するサービスの拠点施設である大江支所の文書管理、自治会業務等の運営管理を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 支所所管の以下の主要業務を推進するための事務経費。 ・大江地域の44自治会並びに自治会長会、さらには大江まちづくり住民協議会をはじめ各種地域団体・組織との総合調整。 ・大江地域の防災拠点として、住民並びに防災組織(消防団、6防災支部)に対し平時の防災啓発活動及び非常時における緊急防災対応。 ・大江地域並びに主に市北部に在住する市民を対象とした各種行政窓口サービスの提供。					
対象者	大江支所利用者	対象者数	14,349	単位あたりコスト	1.9	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	大江まちづくり住民協議会					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	旅費	113	旅費(普通旅費 研修旅費)			
	需用費	257	消耗品費(事務用品等) 印刷製本費(PPC用紙等)			
	役務費	474	通信運搬費(電話料金 郵送料)			
	委託料	422	委託料(住民協議会 自治会文書記連、自治会関係会議案内作成)			
	使用料及び賃借料	665	複写機使用料(複写機、コピー機) その他機器借上料(NHK受信料)			
	負担金補助及び交付金	53	研修等参加負担金(安全運転管理者講習 除雪機技能講習)			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	2,106		2,090		2,015		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①～③)		2,106		2,090		2,015		0	
予算財源内訳	① 一般財源	2,104		2,088		2,013		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	2		2		2		0	
決算情報	① 流充用額	58		0					
	② 配当予算	2,164		2,090					
	③ 執行額	2,164		1,985					
	④ 執行率	100.0%		95.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	1.81	/ 3.30	2.03	/ 3.15	/		/	
	② 概算人件費	23,720		25,060					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		25,884		27,045					

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	コピー代(大江支所)	種類	雑入	実績金額	1	決算附属資料	44	頁
				10					

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人		11779	12695	14349			
		目標値		15000	15000	15000	15000	15000		
		支所利用(来庁)者数	達成度	%	79%	85%	96%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人		9	8	8			
	在勤職員数(正職)									
		当初見込		9	9	9	9	9		
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	地域住民福祉の増進と利便性を確保するため支所機能を維持し、その支所業務を円滑に実施する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件		193	190	218			
		目標値		193	190	218	212	－		
		自治会要望受付・対応件数	達成度	%	100%	100%	100%	0%	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	千円		7707	2164	1985			
	支所管理経費									
		当初見込		8449	2106	2090	2015	－		
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	支所が所管する幅広い分野にまたがる事務事業を的確に処理するとともに、地域自治会からの行政要望にきめ細かく対応し、住民福祉の向上を図る。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	地域の人口減少が進むなか、行政サービス拠点として支所機能を維持・向上させるため、最小限の人員・経費で既存のサービス水準を落とすことなくマイナナンバーをはじめ新たな業務に対応している。 今後も人口減少は続く一方で住民ニーズや困りごとは複雑化・多様化し、加えて自然災害の脅威が一層増していくことが想定される。そのなかにあって住民が期待する支所の機能・役割を果たし続けるためには事務事業の質向上・高度化と同時に効率化を進める必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	・地域住民に身近な存在である支所の強みを活かし、住民・団体とのコミュニケーションを一層円滑化し満足度の高い行政サービスを提供する。 ・住民窓口、地域防災、情報提供をはじめ、あらゆる事務事業におけるDXの推進	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	大江支所施設管理事業										事業コード	020105810454				
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち							政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化								施策コード	111					
事業担当	所属	021000 市民生活部大江支所							所属長	岸本 範義						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	05 財産管理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	69		頁
計画期間	開始年度	平成17年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－				R7現在の状況		他事業を統合		
根拠法令等	－															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☒ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 平成18年1月1日、旧福知山市・旧三和町・旧夜久野町・旧大江町の市町村合併に伴い、住民サービスの低下を招かないよう、旧町役場を地域住民の身近な行政サービス窓口として支所が設置されたもの。大江地域及び市北部地域の行政サービス提供の拠点として、地域住民福祉の増進と利便性を確保するため支所機能を維持し、その支所業務を円滑に実施するための庁舎管理・公用車管理等を行う事業。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 住民サービス、防災、地域振興の拠点である支所機能を維持・向上させるため、施設・設備の老朽化への対応や時代に即して求められる機能の向上が必要である。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 大江地域及び市北部地域の行政サービス拠点施設である大江支所の適切な維持管理を行い、住民福祉の増進と利便性を確保する。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・大江支所並びに所管施設を適切に運営するため、各設備の法定点検や日常清掃、光熱水費の支出、所管公用車の管理を行う。 (主な所管施設:旧俊明多目的集会所、電気自動車用充電設備) ・大江支所長寿命化のため、漏水していた屋上の防水工事を実施(単年度事業) ※令和5年度より『大江地域防災対策事業』を統合。 ※令和7年度より『大江支所きめ細かな安心安全事業』を統合。										
対象者	大江支所利用者					対象者数	14,349		単位あたりコスト	2.9	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	14,661		32,933		29,558		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		14,661		32,933		29,558		0						
予算財源内訳	① 一般財源	10,250		10,363		9,108		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		15,000		13,100		0						
	⑤ その他特財	4,411		7,570		7,350		0						
決算情報	① 流充用額	△ 2,321		0										
	② 配当予算	12,340		32,933										
	③ 執行額	12,340		31,521										
	④ 執行率	100.0%		95.7%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.50	/	1.75	0.62	/	1.71	/						
	② 概算人件費	8,900		9,748										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		21,240		41,269										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	大江支所使用料(税機構・社会福祉協議会)		種類	総務使用料		実績金額	1,009		決算附属資料	7		頁
			大江駅前多目的広場使用料			総務使用料			257			7		
			土地建物貸付収入(大江支所)			土地建物貸付収入			238			30		
			大江支所施設管理事業基金繰入(公共施設等総合管理基金繰入金)			基金繰入金			4,800			38		
			京都地方税機構事務所経費負担金			雑入			1,106			48		
			大江支所施設管理事業(一般)(庁舎整備事業債)			総務債			14,200			50		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	人	11779	12695	14349			
			目標値		15000	15000	15000	15000	15000	
	支所利用(来庁)者数		達成度	%	79%	85%	96%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	千円	21227	12253	31521			
	支所管理経費		当初見込		23059	14661	32933	29558	87848	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	地域住民福祉の増進と利便性を確保するため支所機能を維持し、その支所業務を円滑に実施するための庁舎管理・公用車管理等を行う。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	件	3262	3326	2935			
			目標値		3262	3326	2935	-	-	
	支所窓口での各種申請受付・処理件数		達成度	%	100%	100%	100%	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	千円	-	-	19000			
	支所改修費		当初見込		-	-	20000	17500	-	
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	老朽化が進む大江支所の長寿命化を図るため適切なメンテナンスを実施する。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	大江支所の施設を適切に維持管理するため、現在の事業規模で継続的に実施している。加えて京都地方税機構の執務室として有償貸付しており同機構の業務に支障がないよう適切な施設管理の責務も負っている。 職員一人一人が強い自覚を持ってコスト縮減に取り組んでいるが、経年劣化による維持管理費の増嵩に加え、光熱水費の高騰という全国的な問題も発生し、今後これまで以上の経費負担が懸念される。	
現状の課題 に対する 改善策	多くの施設設備が老朽化するなか部分改修による対応を基本とし、令和6年度に屋上防水改修工事を実施、令和7年度に外壁タイル改修工事を予定している。今後も空調用冷温水管の更新や自家発電設備の改修、トイレ改修など必要な改修が数ある中で、優先度を明確にし計画的に取り組んでいく。 【令和7年度以降:「大江支所きめ細かな安心安全事業」を本事業に統合して継続実施】	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	広報ふくちやま発行事業										事業コード	020102820106				
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち							政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化								施策コード	111					
事業担当	所属	030200 市長公室秘書広報課							所属長	横山 美和子						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	02 文書広報費		会計	01 一般会計		決算附属資料	65		頁
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	－															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 例年数々の広報紙のコンテストで実績をあげ、広報紙としての質を高めることで、読者の定着と新たな読者を獲得している。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 市民がほしい情報や興味関心がある情報収集に努め、情報ニーズやターゲットの属性を把握し、本市の伝えたいこととひもづけた広報紙作り。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 市民の暮らしに役立つ広報紙として、市政情報などをお知らせし理解や協力を得るほか、行政からの一方的な情報提供にとどまらず、市民生活の様子や、地域づくりに積極的に取り組んでいる団体やグループ、個人などにもスポットを当てて掲載し、市民参加の機会を増やす。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・毎月1回32,700部を発行 ・広報紙のデジタル化 ・広報紙研修、先進事例の研究										
対象者	市民・不特定多数の人々					対象者数	75,000		単位あたりコスト	0.3	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予 算 情 報	① 当初予算	16,825		16,795		18,834		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		16,825		16,795		18,834		0						
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	16,297		16,267		18,306		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	528		528		528		0						
決 算 情 報	① 流充用額	△ 60		△ 143										
	② 配当予算	16,765		16,652										
	③ 執行額	16,621		15,777										
	④ 執行率	99.1%		94.7%										
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.86	/	0.10	0.80	/	0.10			/				
	② 概算人件費	7,160		6,680										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		23,781		22,457										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	広報誌等広告収入(秘書広報課)		種類	雑入		実績金額	519		決算附属資料	42		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	469	567	572			
	広報ふくちやま読者アンケートに回答した人数		目標値	500	500	500	500	500	
			達成度	94%	113%	114%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	14	14	12			
	発行回数		回	14	14	12	12	12	
			当初見込	14	14	12	12	12	
活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	特集の企画立案、取材対象への取材、他部署からの記事の収集、編集、校正確認、印刷会社への発注。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績						
			目標値						
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績						
			当初見込						
活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	毎号広報紙で実施しているアンケートから、市民の方が広報ふくちやまから市政情報を入し、具体的な行動を起こしていることがわかる。 ※令和6年度京都広報賞 広報紙の部:知事賞受賞(府内1位)、写真の部(一枚写真):知事賞受賞(府内1位) 令和6年度近畿市町村広報紙コンクール:最優秀賞 令和5年度京都広報賞 広報紙の部:知事賞受賞(府内1位)、写真の部(一枚写真):知事賞受賞(府内1位) 令和5年度近畿市町村広報紙コンクール:最優秀賞 令和4年度京都広報賞 広報紙の部:知事賞受賞(府内1位)、写真の部(組み写真):知事賞受賞(府内1位) 令和4年度近畿市町村広報紙コンクール:優秀賞 令和3年度京都広報賞 広報紙の部:知事賞受賞(府内1位)、写真の部(一枚写真):会長賞受賞(府内2位)、写真の部(組み写真):知事賞受賞(府内1位)、府民賞(府内1位:府民インターネット投票) と数々の実績をあげ、広報紙としての質を高めることで、読者の定着と新たな読者の獲得へつなげると評価している。 引き続き、市民が欲しい情報や興味関心がある情報収集に努め、情報ニーズやターゲットの属性を把握し、本市の伝えたいこととひもづけた広報紙作りに取り組む。	
現状の課題 に対する 改善策	まだ高齢の読者が多く、若年層が開けてみたく内容や仕掛けを心がける。 また、ホームページともSNSとも異なる、紙媒体だからできることを研究し、施策理解や活動への参加のきっかけづくりをめざす。 オープンデータ化し、ホームページでウェブブック化しているほか、民間事業者が運営する情報サイト「KYOTO eBOOKS」「マチイロ」「マイ広報紙」でも掲載するなど、若年層が利用するPCやスマートフォンなどから広報紙を見られるよう展開しているが、引き続き、どこでも広報紙を読んでもらえる環境を整えとともに、SNSやホームページ、シティプロモーション活動などと連携させ、多面的な情報発信をめざす。 引き続き広報関連の賞にも積極的に参加し、また、広報担当者が研修機会へ積極的に参加し、企画内容、紙面レイアウトや色使いを含めて、「読む価値のある広報紙」としてのブランディングを進める。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	市政案内事業								事業コード	020102820109				
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち					政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化							施策コード	111				
事業担当	所属	030200 市長公室秘書広報課					所属長	横山 美和子						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	02 文書広報費		会計	01 一般会計	決算附属資料	65・66	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－			R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	－													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ICTの進展に伴い加速化する情報社会の中で、市民の情報入手に関する行動は大きく変化しており、ニーズも多様化している。そのような中、市政に関わる情報について、市民にわかりやすく説明するとともに、双方向のコミュニケーションへとシフトし、情報共有を図ることが求められている。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 社会経済状況が急速に変化するなかで、多様化する市民ニーズや複雑化・深刻化する地域課題に対応していくため、市が施策や事業を立案し、実施していくにあたって踏まえた事実などを含め、市民と市が情報を共有し、共通意識を持ち、協働したまちづくりを進める必要がある。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 効果的・効率的な広報・広聴に取り組むことで、市民の市政への関心や理解を深め、協働のまちづくりにつなげる。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・市民が広報・広聴活動に対して抱えているイメージに対して現状と課題を把握するため無作為抽出15歳以上の市民3,000人にアンケートを案内。(回答数889人) ・市民アンケートの結果をもとに意見交換を行う市民ワークショップを実施(無作為抽出からの希望者1回目15人、2回目14人) ・福知山市広報戦略検討委員会を4回開催し、市民アンケート、市民ワークショップの意見をもとに12人の委員が広報・広聴の方向性について協議を行い提言書にまとめた。(提言書は令和7年1月提出)提言書の方向性に基づいて広報広聴アクションプランを立案し、予算が伴わなくても実行可能な取り組みに着手するとともに、令和7年度の事業立案・予算化を進めた。										
対象者	市民・不特定多数の人々					対象者数	75,000		単位あたりコスト	0.2	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,447		1,554		13,342		0						
	② 補正予算	0		2,819		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		1,447		4,373		13,342		0						
予算財源内訳	① 一般財源	1,447		4,373		1,392		0						
	② 国支出金	0		0		5,709		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		6,241		0						
決算情報	① 流充用額	52		0										
	② 配当予算	1,499		4,373										
	③ 執行額	1,499		3,475										
	④ 執行率	100.0%		79.5%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.08	/	0.00	0.90	/	0.30			/				
	② 概算人件費	640		8,040										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,139		11,515										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	市政案内事業(デジタル田園都市国家構想交付金)			種類	総務費国庫補助金		1,241		実績金額	15		決算附属資料	頁
		市政案内事業(京都府ふるさと応援交付金)				総務費府補助金		575			21			

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人		12574	13132	13631				
		目標値		11000	12000	13000	15000	17000			
	LINEの友だち登録者数	達成度		%	114%	109%	105%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	0	0	7					
	広報戦略検討委員会からの提言の方向性に基づく広報広聴の取り組み数			0	0	0	18	20			
				当初見込							
活動内容① (アクティビティ)		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 令和6年度は、アクションプランの立案と、広報紙のコーナー追加など予算が伴わなくても実行可能な取り組みを行った。 令和7年度以降も、予算化された取り組みも含めて、広報広聴の取り組みを追加で展開していく。									

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績									
		目標値									
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
				当初見込							
活動内容② (アクティビティ)		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	ICT技術やSNSの普及により、市民の情報取得手段や発信の形式が多様化し、情報拡散のスピードも加速している。このような中、従来のような市からの一方向の情報伝達広報でなく、市民と市が相互に情報発信や情報共有をし、意思疎通を図りながら今なすべきことや問題・課題の解決に向けてともに取り組んでいくために、双方向のコミュニケーションへとシフトする必要がある。こうした状況を踏まえ、福知山市広報戦略検討委員会を開催し、市民アンケートやふくちやま市民広報会議(市民ワークショップ)の意見を踏まえ、広報・広聴活動の方向性を提言書にまとめた。 提言書の方向性に基づいて広報広聴アクションプランを立案、令和7年度の事業立案・予算化を進めた。 ▼令和6年度に行った取り組み ・広報紙にて、「#いがいと福知山」をつけて投稿された市民のInstagram写真を紹介する「ぶらり#いがいと福知山」を設置・運用【方向性3 民間の広報主体との連携による発信力強化】 ・市公式ホームページにて「福知山市長の1日」ページを設置・運用【方向性4 市長や職員の顔が見える広報】 ・広報紙にて読者アンケートの回答を掲載する「みんなのひろば」を設置・運用【方向性5 市民が簡単に意見を言える場の創設】 など	
現状の課題 に対する 改善策	令和7年度より、「広報広聴戦略推進事業」へ事業名を変更し、福知山市広報戦略検討委員会の提言や市民アンケート、市民ワークショップでの意見をもとに、市が早期に短期・中期・長期の具体的な目標設定を行い計画的に広報・広聴の取り組みを進める。 ▼令和7年度に行う予定の取り組み ・LINE機能の拡張【方向性1 ターゲット層とメッセージの明確化、メディアの効果的な活用】 【方向性2 市民視点の使いやすくなりやすい情報発信】 ・市政情報の動画配信【方向性1】 【方向性2】 【方向性4】 ・市政モニター【方向性5】 ・広報紙で読者視点企画【方向性5】 ・研修の実施【方向性2】 など	

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	まちづくりミーティング事業							事業コード	020102820215		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち					政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備			
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化						施策コード	111		
事業担当	所属	030200 市長公室秘書広報課					所属長	横山 美和子			
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 文書広報費	会計	01 一般会計	決算附属資料	66	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	－			R7現在の状況	他事業へ統合	
根拠法令等	－										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	－										

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 市民と市長の対話の機会を創出し、幅広い思いや願いを市政に反映できる場として広く募集をしている。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 通年募集を行っているが、制度周知が不十分なことなどにより応募団体が少ない。 より広く意見交換を行うために、「この制度に応募したい」と思っていただけるような発信が必要である。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 市民団体等と市長が意見交換できる場(機会)をつくり、市政に反映することを目的とする。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ○市民団体等を対象に市長と直接意見交換ができる場をつくる ○参加団体については、通年募集をする ○個人ではなく、団体やサークル等とする					
対象者	参加団体(10人×5回)		対象者数	50	単位あたりコスト	19.6
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等						
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	需用費	22	消耗品(事務用品)の購入			

区 分		R5(評価前年度)	R6(評価年度)	R7(本年度)	R8(要求年度)
予算情報	① 当初予算	25	25	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)		25	25	0	0
予算財源内訳	① 一般財源	25	25	0	0
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	25	25		
	③ 執行額	16	22		
	④ 執行率	64.0%	88.0%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.12 / 0.00	0.12 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	960	960		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		976	982		

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁								

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。 まちづくりミーティング参加者数		成果実績	人		10	13	15			
		目標値			80	50	50	60	60	
		達成度		%	13%	26%	30%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。 まちづくりミーティングの開催回数		活動実績	回		2	3	2			
		当初見込			8	5	5	6	6	
		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容① (アクティビティ)		通年の応募を行っているが、まちづくりに積極的に関与されている団体などに直接アプローチして制度の周知を一層図っていく。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。 		成果実績								
		目標値								
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。 		活動実績								
		当初見込								
		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容② (アクティビティ)										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	開催回数が目標に達しておらず、大きな要因は制度の周知不足である。								
現状の課題 に対する 改善策	事業予算としては、消耗品費等の購入のみであるため事業統合するが制度は引き続き行う。 制度の募集について広報を一層行うとともに、まちづくりに積極的に参加されている団体等に個別にアプローチも行うこととする。								
	令和7年度から「秘書広報一般管理事業」へ事業統合								

(単位：千円)

事業名	例規集データベース化事業										事業コード	020102810107				
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち							政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化								施策コード	111					
事業担当	所属	080700 総務部総務課							所属長	塩見 史明						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	02 文書広報費		会計	01 一般会計		決算附属資料	65		頁
計画期間	開始年度	平成19年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	－															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()															
関連事業	－															

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 職員が事務を行う際に、効率的に事務を執行できるよう例規システムを利用し、例規の改正等の内容を更新する。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 例規システムを利用しているが、法令改廃情報の提供や改め文作成機能やチェック機能など、使用されていない部署もある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 行政事務において、例規システムにより、例規・法令を活用することができる。 市のホームページにも例規集を掲載することで、広く市民等に周知できる。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 市例規集の整備並びに法令及び判例検索が可能なデータベース情報の提供 福知山市公報の発行 法令及び条例の根拠とする処分手続の洗い出しを行うとともに、各手続ごとに審査基準・標準処理期間等を設定した個票を作成					
対象者	市民		対象者数	74,275	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	株式会社ぎょうせい関西支社					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	需用費	1,386	例規集追録印刷			
	委託料	1,191	例規集データベース等更新業務委託(データ更新料)			
	使用料及び賃借料	709	例規集データベース等更新業務委託(システム使用料)			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	3,093		3,090		6,945		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0			
小計(①～③)		3,093		3,090		6,945		0	
予算財源内訳	① 一般財源	3,093		3,090		6,945		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流充用額	74		196					
	② 配当予算	3,167		3,286					
	③ 執行額	3,165		3,286					
	④ 執行率	99.9%		100.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.68	/	0.00	0.73	/	0.00	/	
	② 概算人件費	5,440		5,840					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,605		9,126					
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	—	
	定性的評価	目標値		—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	28129	31917	32456				
	例規集システムログイン件数	当初見込		30000	30000	30000	36000	36000		
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	法令、例規等の検索だけでなく、便利な機能(例規システム会社から提供される法改廃情報や改め文の作成機能等)について、周知を行う。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度			
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 法令改廃情報の提供や改め文作成機能やチェック機能など、使用されていない部署もある。	
現状の課題 に対する 改善策	定期的に例規システムの職員研修等を実施し、例規システムを活用してもらう。	

(単位：千円)

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	回	148	237	246			
		目標値		280	200	240	240	240	
	地区公民館活動数		達成度	%	53%	119%	103%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	館	26	25	25			
	地区公民館への活動支援数	当初見込		26	25	25	25	25	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
地区公民館事業負担金の交付									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・各地区公民館館長・主事と各市立地域公民館で構成する「福知山市公民館連絡協議会」が全体会議(館長、主事会)を開催し、コミュニティ活動や地域課題解決に向けての取組み等について、意見交換を行った。 ・地区公民館組織は現代的な課題や地区の課題解決に取り組める人材育成や活力ある地区コミュニティ作りを推進していくために重要な役割を担うと考えられ、公民館組織体制の充実が大切である。 ・各地区公民館で様々な生涯学習活動が実施されているが、急速な少子・高齢化などにより若者の参加者が減少している。より魅力的な生涯学習活動の実施が求められる。また、地区公民館を運営する館長・主事などの役員の人員確保が困難な状況である。	
現状の課題 に対する 改善策	・地域コミュニティの維持継続に向けた活動ができるように、公民館連絡協議会、各地域公民館とも連携し、各地区の課題解決に向けて支援を行っていく。 ・令和6年度に開催される京都府公民館研修会等に参加し、生涯学習の振興や地域づくりに向けた公民館活動の推進について支援を行っていく。 ・「活動実績」の「地区公民館への活動支援数」の令和5年度と最終目標値について、現在、6つの地区公民館が休止中であるため、31公民館から25公民館に変更する。 ・令和5年度に、新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが2類から5類へ移行となり、多くの地区で公民館活動が再開され、公民館活動数が目標値を上回った。そのため、「成果実績」の「地区公民館活動数」を令和6年度・令和7年度・最終目標値を240に変更する。	